

第1回

教育研究推進センター講演会

7月11日(水) 17:30から

教育研究推進センター

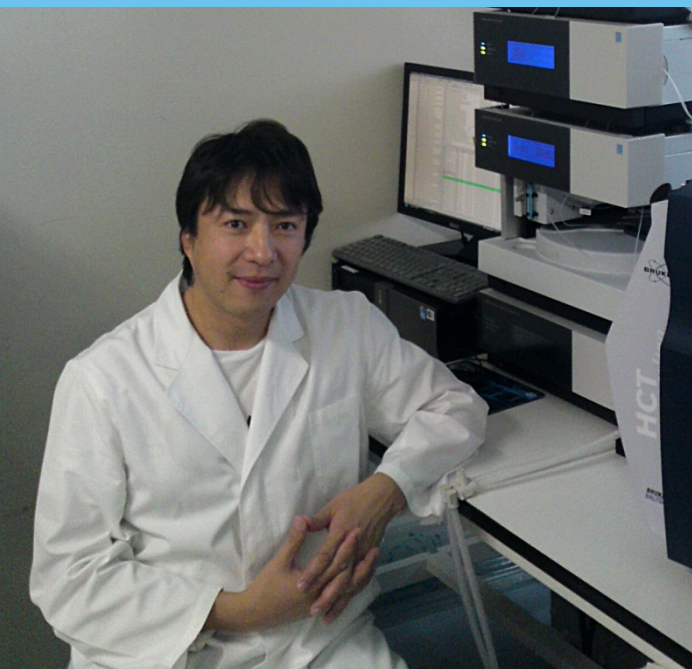
3階カンファレンスルーム

「腫瘍(診断)マーカー探索における 二次元 LC/MS の活用とその効果」

黒野 定 先生

(大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻

疾患分子情報解析学(和光純薬工業)共同研究講座)



我が国の壮年期から中年期の女性におけるがん死亡原因の1位である乳癌に対し、より早くより正確な早期乳癌診断法を確立することを目的とする。乳癌発症部位である乳管内の情報を直接得ることができる乳頭分泌液(Nipple discharge, ND)を検体とし、二次元(ODS(塩基性)/ODS(酸性)) nanoLC/nano-ESIMS/MSを用いた乳癌患者と非癌者の検体を差異比較プロテオミクスで解析することにより、乳癌に特異的に発現しているタンパク質(乳癌マーカー)の同定解析及びバリデーションを進めている。本講演会では、二次元 nanoLC/nano-ESIMS/MSによるタンパク質解析の有用性を論ずると共に、ヨードアセトアニリドとその安定同位体標識物を用いたタンパク質の定量解析についても言及し、臨床プロテオミクスの可能性について議論したい。

なお、セミナーを撮影したビデオを学内限定で公開させていただきます事をご了承下さい。

主催: 旭川医科大学教育研究推進センター

連絡先: 船越 洋 / 阿久津 弘明(内線2620)